

## 駐車場利用者に課税する税に関する試算結果について

令和2年度の観光まちづくりの充実・維持に係る財源のあり方に関する検討会議において、町内有料駐車場の駐車台数の調査及び駐車場利用者に課税した場合の試算の依頼があったため、調査したものを。

### 1 調査概要

町内の駐車場の駐車台数を把握するため、「令和6年 はこねの手引き」に掲載している駐車場をもとに調査したものを。

その上で、駐車行為に課税している「歴史と文化の環境税（太宰府市）」及び「乗鞍環境保全税（岐阜県）」の課税内容を適用した場合、どの程度の収入が見込まれるか試算したものを。

### 2 対象駐車場

「令和6年 はこねの手引き」に掲載している有料駐車場（28施設）

町管理：4施設（宮ノ下駐車場、仲町駐車場 等）
県管理：6施設（湖尻林間駐車場、神社前駐車場 等）
民間管理：18施設（大涌谷園地駐車場、湯本臨時観光駐車場 等）

※有料駐車場のうち、歴史と文化の環境税の課税内容を踏まえ、事業所・店舗等に付随する駐車場、臨時的駐車場（駐車可能台数5台以下又は年間営業日数10日以下）を除いたものを対象とすることとした。

### 3 調査方法

- (1) 町・県管理駐車場及び一部民間駐車場（18施設）の令和5年度駐車台数を調査した。
- (2) その他の有料駐車場については、(1)の平均駐車場回転率（駐車台数÷駐車場収容台数）を適用し、駐車台数を試算した。ただし、大涌谷園地駐車場は、回転率が突出して高かったため、平均駐車場回転率の対象駐車場から除いた。
- (3) 算出した駐車台数（(1) + (2)）に、歴史と文化の環境税の車種別税率を乗じて収入額を試算した。なお、乗鞍環境保全税は、本町で類似するものとして大涌谷園地駐車場を課税対象として、駐車台数をもとに試算した。

※採用した車種別税率

名称	車種	税率
歴史と文化の環境税（太宰府市）	乗用車	100円
	大型バス（定員30人以上）	500円
乗鞍環境保全税（岐阜県）	乗用車	300円
	観光バス（定員30人以上）	3,000円

#### 4 試算結果

「3 調査方法」をもとに令和5年度年間駐車台数及び駐車行為に課税した場合の収入見込額を試算した結果は、次のとおりである。

名称	区分	乗用車	バス	合計	備考
歴史と文化の 環境税 (太宰府市)	対象台数 (台)	943	52	995	町内の有料駐車場 (28施設)
	A 税率 (円)	100	500	—	
	B 合計 (台)	640,615	17,393	658,008	
	年間実績 (台)	553,093	17,393	570,486	町・県管理等駐車場(18施設)
	年間見込 (台)	87,522	0	87,522	駐車場(10施設)収容可能台数× 回転率※1
収入見込額 (A×B)		64,061,500	8,696,500	<b>72,758,000</b>	≒73,000千円
乗鞍環境保全税 (岐阜県)	対象台数 (台)	112	26	138	大涌谷園地駐車場を対象※2
	A 税率 (円)	300	3,000	—	
	B 年間実績 (台)	275,463	14,471	289,934	
収入見込額 (A×B)		82,638,900	43,413,000	<b>126,051,900</b>	≒126,000千円
(参考) R2対象台数	(台)	767	34	801	町内の有料駐車場 (21施設)

※1:回転率=1.29 (年間実績台数/収容可能台数(17施設))/営業日数

※2:乗鞍環境保全税の条件(乗鞍鶴ヶ池駐車場への駐車)に最も近いと考えられる大涌谷園地駐車場を対象としたもの

#### 5 まとめ

- ・今回の調査では、町内全ての駐車場の実績台数を把握できていないが、調査実績台数をもとに試算したところ、約7,300～1億2,600万円の収入が見込まれる結果となった。
- ・令和2年度との比較では、町内の有料駐車場は7施設(194台)増加した。主な要因は、無料駐車場の有料化への変更や新たなコインパーキングの増が挙げられる。
- ・町内の駐車合計台数658,008台のうち、大涌谷園地駐車場が合計289,934台と全体の半数弱を占めているため、収入は、当該駐車場の利用実績に大きく左右されることがわかった。